

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）

○日時：4月5日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○対象：幼児 ○定員：6組
《3月のおはなし会で使った本》

『たのしいおひなさま』 おおいじゅんこ/作・絵 教育画劇 2021

『だるまさんと』（大型絵本） かがくいひろし/さく ブロンズ新社 2011

『もちもちともだち』 すとうあさえ/脚本 山口マオ/絵 童心社 2015

『はなをくんくん』 ルース・クラウス/ぶん きじまはじめ/やく マーク・サイモント/絵 福音館書店 1980

★「春のスペシャルおはなし会」

○日時：令和4年4月17日（日）11:00～11:50 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室

○内容：エプロンシアターやパネルシアターによるおはなし会

○対象：幼児（3歳児から。同伴の保護者は1名のみ）○定員：20名（要申込み・先着順。保護者を含む。）○参加費：無料

◎申込み・連絡先：山口県子ども読書支援センター

（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【お知らせ】

令和2年度「子どもの読書」関係ボランティア団体調査結果を山口県立山口図書館HPで公開しています。

<https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/kodomocenter/2020kodomodantaichosa/>

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本-乳幼児から>

『スプーンとフライパン』 新井洋行/著 佼成出版社 2022.2 ¥1200

まくらとふとんが出会ったら「ポンポンポン」って音がするよ。スプーンとフライパンがであったら「カンカンカン」。スリッパとゆかが出会うとこんな音。「パタパタパタパタ」。じゃあふきんとお皿が出会うとどんな音？いろんなふたつのものが出会ったら、どんな音が生まれるのかな？赤ちゃんの身のまわりにあるものがニコニコ顔で登場。音の感性を育む赤ちゃん絵本。

<絵本-3, 4歳から>

『キオスク』 アネテ・メレツェ/さく くらさわあゆみ/やく 潮出版社 2021.5 ¥2000

オルガはずっと前からキオスクで働いている。みんなの好みをよく知っていて、毎日お客さんと礼儀正しくあいさつを交わす。その大きな体は、キオスクにすっぽりとはまってしまっている。ある日ひよんなことからキオスクごと転んでしまい、散歩にでかけることにしたオルガは…。アニメーション映画をもとにして作られた、カラフルでユニークなラトビアの絵本。

<絵本-小学校低学年から>

『魔法のことは』 柚木沙弥郎/絵 金関寿夫/訳 福音館書店 2021.12 ¥1500

「ずっと、ずっと大昔 人と動物がともにこの世にすんでいたとき になりたいとおもえば人が動物になれたし 動物が人にもなれた。」エスキモーの人々に伝わる一篇の詩をもとに絵本として構成。型染め技法による力強い画とシンプルな言葉が独特の世界観を醸し出す美しく不思議な絵本。1994年発行のオリジナル版に変更を加え柚木沙弥郎生誕100年を記念して限定復刊。

『ナイチンゲールのうた』 ターニャ・ランドマン/作 ローラ・カーリン/絵 広松由希子/訳 BL出版 2022.2 ¥1700

昔、地球はみずみずしく色にあふれていた。しかし動物たちはぼんやりくすんでいた。そこで「えかさきさん」は、すべての動物をよび集めえのぐ箱を開け、生き物たちに色や模様をつけていった。最後に一羽の小鳥がとんできたが、絵具はもう残っていない。そこで…。コガネムシが金色であること、マンドリルのおしりがカラフルな訳も納得。色彩も文章も豊かで美しい絵本。

<絵本-小学校低学年から>

『王さまのお菓子』 石井睦美/文 からはしれい/絵 世界文化ブックス 2021.12 ¥1500

フランスで新年に家族が集まった時に食べる「王様のお菓子」。パイの中には、フェーヴと呼ばれる小さな陶器の置物が入っていて、それが当たった人は一年間の幸福が約束される。パイの中のフェーヴの人形ミラーは、自分が誰に当たるのか気になってしょうがない…。フランスの伝統菓子「ガレット・デ・ロワ」を題材に、誰かを想い、幸せを願う優しい気持ちを描いた美しい絵本。

<絵本-小学校中学年から>

『ほっきょくでうしをうつ』 角幡唯介/作 阿部海太/絵 岩崎書店 2022.1 ¥1700

北極の氷の世界を旅する私は、もう随分人の姿をみてもおらず腹が減っていた。獲物になる動物を探しているとジャコウウシの群れに出会う。生きている獲物を前にグラグラと揺らぐ心を抑え、鉄砲に弾を込め一步一步近づき引き金を引く…。食べるため、生きるために初めて生きた動物を殺した探検家の実体験をもとに、命のやりとりの瞬間が黒と白の世界で描かれる。

<読み物-小学校低学年から>

『おてがみほしいぞ』 こうまるみづほ/作 丸山誠司/絵 あかね書房 2022.1 ¥1000

ヤギの郵便屋さんがお手紙を届ける様子を見ていたオオカミのギロン。手紙をもらった動物たちが喜ぶ様子を見て、自分も手紙がもらいたくなる。まずは手紙を書こうとするが、相手が見つからず、しかたなく自分宛てに手紙を出すことに。しかしいくら待っ

でも自分に手紙が届かないことに苛立つギロンは…。ヤギの郵便屋さんとオオカミのギロンの心温まる交流が微笑ましい幼年童話。

<読み物—小学校中学年から>

『わたしらしくCジャンプ! おはなしSDGs働きがいも経済成長も』赤羽じゅんこ/作 サトウユカ/絵 講談社 2022.1 ¥1350

小4の愛里と叶翔と奏は同じチアダンスのメンバー。イベントでの発表のため練習に励んでいた最中、中学校の先生である愛里の父親が働きすぎによる過労で突然倒れ、車いす生活に。三人はイベントの参加を取りやめ、愛里は父親の回復の願掛けのために、大好きなチアを我慢していたが、チアの先生から、車いすチアグループとのコラボを提案される。「シリーズおはなしSDGs」。

<読み物—小学校高学年から>

『ソラモリさんとわたし』はんだ浩恵/作 フレーベル館 2021.12 ¥1400

1学期最後の日に秘密のメモ帳を落とした小6の美話。メモ帳を拾ってくれたことをきっかけに、コピーライターのソラモリさんと親しくなる。毎日のようにソラモリさんちに行きやすい「言葉のレッスン」を受けているうちに、だんだん自分の「言葉」と向きあえるように。遂に、父親にずっと言えなかった心のわだかまりを伝える。第3回フレーベル館ものがたり新人賞大賞受賞作。

<読み物—中学生から>

『落花流水』鈴木りか/著 小学館 2022.2 ¥1400

私は佐藤水咲、高校3年生。大好きな祐太おにいちゃんに追いつくために、猛勉強の末、名門西森高校に合格はしたものの、目標もなく、友達とぐだぐだ過ごす毎日。ところが、ある日曜日の早朝を境に、その日常が一変する。私のよりどころはどこに…。「12歳の文学賞」大賞を3年連続受賞し、2017年に中学生で作家デビューした著者にとって、初めての長編小説。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『じどう車ずかんをつくらう』岡田博元/監修 ポプラ社 2021.4 ¥2900

特別な自動車の「しごと」と「つくり」を絵や写真で紹介し、それらを説明する文章の書き方を例文と共に収録。『①きゅうきゅう車・パトロールカー・しょうぼう車』『②タクシー・すいりくりょうようバス・ろせんバス』他、各巻3台ずつ掲載する全6巻のシリーズ。小1国語科の「じどう車くらべ」の学習で利用できる。コピーして使えるカードは、車種別にダウンロードも可能。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『きめつけないで! 「女らしさ」「男らしさ」～みんなを自由にするジェンダー平等～ ③校長先生はほとんど男の人!? ほか』治部れんげ/著 小林裕美子/イラスト・マンガ 汐文社 2022.1 ¥2500

家事や育児の分担、パートナーや家族のかたち、社会や会社のリーダーなど、よくある性別に基づく決めつけをマンガで示し、男女平等について正しく理解し、自分らしく生きるために大切なことを伝える本。他に、『①女の子が意見をはっきり言うなんて!? ほか』『②泣くのは男らしくない!? ほか』のシリーズ全3冊。SDGs ゴール5〈ジェンダー平等を実現しよう〉関連書籍。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『国連ファミリー・パーフェクトガイド』鎌田靖/監修 稲葉茂勝/著 新日本出版社 2022.1 ¥4800

「国連ファミリー」とは、「国連システム」ともいう、国際連合にある世界の平和と安全を守るために働く国際的な組織のこと。この「国連ファミリー」を、平和と人権、健康と保健、開発と経済、地球環境の4つのジャンルに分け、それぞれの組織の仕組みと役割をたくさんの写真と共にわかりやすく紹介。SDGs ゴール17〈パートナーシップで目標を達成しよう〉関連書籍。

<ノンフィクション—中学生から>

『アウシュヴィッツを描いた少年 僕は銃と鉄条網に囲まれて育った』トーマス・ジーヴ/著 品川亮/訳 ハーパーコリンズ・ジャパン 2022.1 ¥3900

1929年にドイツで生まれ、13歳でアウシュヴィッツ強制収容所に送られた筆者。極寒の地で神経をすり減らし、死と隣り合わせでありながら生きる希望を持ち続けた若者たちがはぐくんだ友情。反ナチスのドイツ人や様々な国籍の捕虜たちを冷静に観察し、1日でも長く生き延びるすべを探し続けた22か月に及ぶ収容所生活を解放後に綴った手記と詳細なスケッチを収録。

『スポーツの仕事ってこんなにある 選手を支えるために「職人の道」を選んだ理由』ベースボール・マガジン社/編著 ベースボール・マガジン社 2022.1 ¥1700

プロ選手や日本代表選手など、いわゆる表舞台で活躍する人がいれば、彼らを支える様々な「スポーツの仕事」も存在している。本書に掲載されているのは、日本国内のトッププレーヤーを支える職人4名。競技に打ち込んだ子ども時代から今の仕事に至る経緯、実際の仕事の様子などを詳しく紹介。BBM スポーツ探求学習シリーズ。動画を視聴できるQRコード付き。

『さばの缶づめ、宇宙へいく 鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち』小坂康之・林公代/著 イースト・プレス 2022.1 ¥1500

2020年11月、宇宙飛行士野口聡一さんがISSで鯖缶を食べる動画が話題となった。その鯖缶を作ったのは2017年度指定のSSHで1位と評価された福井県立若狭高校海洋水産学科。鯖缶の開発は2006年に前身の福井県立小浜水産高校でスタートし、高校の統廃合など様々な困難を乗り越えて実現。「鯖街道を宇宙へ」を合言葉に、生徒と教員が一体となった14年間のドラマ。

<研究書>

『「こどもの本」の創作講座 おはなしの家を建てよう』村中李衣/著 金子書房 2022.1 ¥1800

こどものお話をつくる人のための童話創作講座。著者流の心得を踏まえて10のワークに従っていきと、自分の言葉でお話が出来上がっていくように構成。学生の実践例や他の作家の作品を例に挙げ、分析しながら講座が進んでいく。読みすすめていくと、学生たちと一緒におはなしづくりに取り組んでみたくなる。序章では、著者自身の創作への姿勢がわかるエピソードを掲載。

『レインボーブックガイド 多様な性と生の絵本』草谷桂子/著 子どもの未来社 2022.2 ¥1500

家庭文庫を主宰し、40年以上子どもの本と関わってきた著者が、数多くの絵本を「性と生」に注目し、大きく五つに分類したブックガイド。題の「レインボー」は「性の多様性」だけでなく「人権意識」も象徴しており、「子どもたちの生きやすい未来」につながる絵本232冊を紹介。掲載本にはすでに絶版のもの、絵本以外のものもある。巻末には掲載本の索引あり。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。収書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→
<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary>

